

情報産業労働組合連合会

中央執行委員長 野田 三七生 様

この度は、私ども熊本県聴覚障害者(児)親の会へご支援いただき誠にありがとうございます。
うございます。

熊本の地に本「親の会」が発足して45年目を迎えます。

今だ、難聴の障がいを持つ子ども達の不自由さは無くならず、親として微力ながらの力を出し合い、子ども達のためにまた、聴覚障害児を持った親の為に何かサポートをしましよと取り組んでいます。

難聴が発見された子供たちは就学する前から、県内唯一の長嶺にあります難聴用児通園施設「ひばり園」や、聾学校で学び、それぞれの地域の小学校へ進んだ後は、一人とか二人の少人数になりながら学習しています。

そこで必要なのは情報交換を基にした行政への要望と同じ境遇に置かれた親や子の連携です。

講演会や子供たちや親同士の交流の場を設定しておりますが、資金面も厳しく思うようにいかない現実もあります。

今回、情報労連 さまのご支援を頂ける運びとなりましたこと、大変ありがとうございます、嬉しく思い会を代表致しましてお礼申し上げます。

熊本県の聴覚障害を持つ子供たちのために有効に活用致します。

貴連合会さまのますますのご発展を祈念しますとともに、今後ともよろしく
お願いいたします。

2016年1月

熊本県聴覚障害者(児)親の会

会長 酒井 清美